

平成24年 2月 7日

報道機関各位

財団法人 東北活性化研究センター

「被災地農業の復興を支える講演会」開催について（ご案内）

当センター（会長：高橋宏明・東北電力(株)会長）では、「東北地域の活力向上と持続的な発展に寄与すること」を理念としており、今年度は大震災からの復興に役立つ、あるいは復興に向けた事業を実施しております。こうした事業の一環として、東北農政局やオランダ大使館などのご後援をいただき、この度、フォレスト仙台において講演会を開催致します。

本講演会は、農業経済の第一人者である宮城大学大泉一貫先生や、農家の所得向上を企業理念に被災地支援や直売所展開に取り組むファームドゥ岩井社長等をお招きして、被災地農業の復興に期待されるテーマについて、バラエティに富む内容で開催いたします。

被災自治体や生産者はもとより、被災地支援に取り組む企業の方々にとっても有益な示唆が得られるものと考えます。

つきましては、ご来聴ならびに貴社の報道におけるPR、取材等ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時：平成24年2月27日（月） 13：30～16：30
2. 会 場：フォレスト仙台 2階 第1フォレストホール
（仙台市青葉区柏木1丁目2番45号）
3. 演題・講師
 - (1)競争力のある農業の構築・・・大規模複合化について
宮城大学 事業構想学部長 大泉一貫氏
 - (2)被災地の農業、漁業と連携した「食の駅」構想
ファームドゥ(株) 代表取締役 岩井雅之氏
 - (3)マイクロ投資が支える被災地の産業復興
ミュージックセキュリティーズ(株) 代表取締役 小松真実氏
 - (4)グリーンポート・・・施設園芸の統合的アプローチ
グリーンポート・ホラント・インターナショナル プログラム・マネージャ ルバート・コネイン氏
4. 主 催：財団法人東北活性化研究センター
5. 後 援：農林水産省東北農政局、オランダ王国大使館ほか（予定）
6. 定 員：100名（先着順）
7. 参加費：無料
8. 申込方法：2月22日（水）までに、氏名、住所、電話番号、会社・団体名および所属・役職等を明記のうえ、FAX またはメールでお申込みください。案内チラシ、申込書は、ホームページからも入手できます。

<お申込み・お問合せ先>

(財)東北活性化研究センター 調査研究部 宮曾根、山田

〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目9番10号 セントレ東北9階

電話：022-222-3394 FAX：022-222-3395

ホームページ：<http://www.kasseiken.jp>

メールアドレス：chosa@kasseiken.jp

なお、同日午前と同じ会場で、オランダ王国大使館が主催するワークショップ「園芸産業のオランダ型統合的アプローチ（Horticulture - The Dutch Integrated Approach）」が開催されます。世界第2位の農産物・食料輸出国であり、世界最先端の施設園芸技術を有するオランダから専門家を招いたワークショップです。講演やディスカッションなどを通じて、オランダ農業の知識や経験を参加者と共有する大変貴重な機会をいただきましたので、ぜひご参加ください。

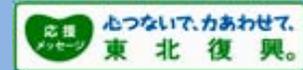
以上

【添付資料】

1. 被災地農業の復興を支える講演会 リーフレット
2. オランダ大使館主催ワークショップのご案内



被災地農業の復興を支える講演会



主催／財団法人東北活性化研究センター 後援／農林水産省東北農政局、宮城県、河北新報社、オランダ王国大使館、宮城大学(予定)

財団法人東北活性化研究センターでは、被災地農業の復興について調査研究を行い、昨年11月に報告書として提案をいたしました。

その後、報告書に取り上げた活動を含め、復興への新しい動きも現れてまいりました。本講演会では、身近な直売所に関する取り組みからオランダの空港直結の施設園芸ロジスティクスまで、バラエティに富む4つの内容を取り上げます。

被災自治体や生産者はもとより、支援されている企業の方々や国、県レベルの政策立案者にとっても有益な示唆が得られると考えますので、ぜひともご来聴の程、宜しくお願い申し上げます。

なお、当日午前同じ会場にて、オランダ王国大使館によるワークショップが開催されます。オランダ農業の専門家から直接話を聞ける貴重な機会ですので、ご興味のある方はワークショップにもご参集いただければと存じます。

日時

平成24年2月27日(月)

13時30分～16時30分(13時開場)

場所

フォレスト仙台 2階「第1フォレストホール」

仙台市青葉区柏木1丁目2番45号(裏面の地図参照)

TEL 022-271-9340

◎募集定員 先着100名

◎お申込み 事前申込制

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

※お申込みにつきましては、裏面をご覧ください。

◎お申込締切日 平成24年2月22日(水)

入場
無料

◆演題・講師プロフィール

競争力のある農業の構築

・・・大規模複合化について

大泉 一貫 氏

宮城大学 事業構想学部長

東京大学大学院修了。農学博士。農業経営の成長を通じた農業の改革に取り組む。農村地域政策の構築や農政への提言活動を展開。日本地域政策学会会長。内閣府「規制改革会議」専門委員(地域経済・農業部会)。内閣官房「食と農林漁業の再生実現会議」委員。大震災からの復興にも取り組み、宮城県南三陸町の震災復興計画策定会議委員長を務める。

被災地の農業、漁業と連携した

「食の駅」構想

岩井 雅之 氏

ファームドウ株式会社 代表取締役

群馬県妙義町(現富岡市)の農家の三男として生まれる。大手流通業で商売の基本を学び、1994年ファームドウ株式会社の前身となる株式会社ファームランド、1997年農業生産法人有限会社ファームクラブを設立。“農業を支援し農家の所得向上に貢献する”を企業理念に掲げ、農業生産、農産物加工、農産物直売の「3つの農業支援体制」で、六次産業化ビジネスの構築に取り組んでいる。

マイクロ投資が支える

被災地の産業復興

小松 真実 氏

ミュージックセキュリテイズ株式会社

代表取締役

マイクロ投資プラットフォーム「セキュリテ」を運営するミュージックセキュリテイズ社を経営。現職以前はミュージシャンとして活動を行っており、ミュージシャンが資金調達を行えないことが独立性を阻むものとして、ファンから投資を募るファンドを組成することを目的として2000年創業。2006年より、音楽だけでなく、日本酒の酒蔵、農業など、様々な業種のファンド組成を始め、現在145本に至る。東日本大震災における被災企業を支援するため、「セキュリテ被災地応援ファンド」を立ち上げ、開始9か月間で17,000人の個人投資家を集めている。

グリーンポート

・・・施設園芸の統合的アプローチ

ルバート・コネイン氏(逐次通訳あり)

グリーンポート・ホラント・インターナショナル
プログラム・マネージャ

オランダ、ハーグ出身。ワーヘニンゲン大学卒業後、オランダ農業省に入省、貿易産業部で勤務、在北京オランダ大使館農務アタッシュェ、在バンコクオランダ大使館農務参事官を歴任した後、2011年2月より現職。グリーンポート・ホラント・インターナショナルのプログラムマネージャとして、オランダ施設園芸産業の国際プロジェクトの振興に取り組んでいる。

被災地農業の復興を支える講演会 申込書

お申し込み
締め切り日

平成 24 年 2 月 22 日(水)

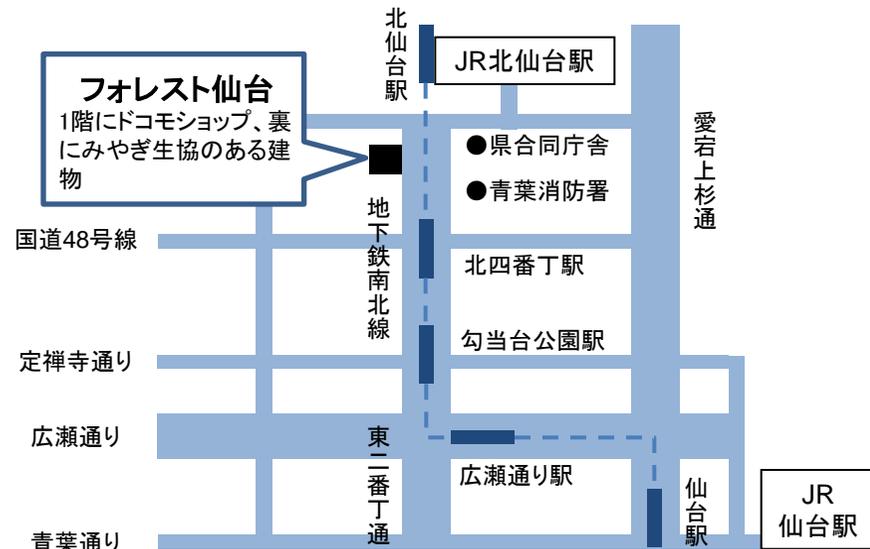
お申し込み
方法

E-mail chosa @ kasseiken.jp
または
FAX. 022 - 222 - 3395

入場
無料

聴講を希望される方は、以下のお申込用紙にご記入の上、平成24年2月22日(水)までEメールまたはFAXにてお申し込みください。

※入場整理券は発行いたしません。当日は直接会場へお越しください。
※定員100名になり次第、締め切らせていただきます。その後にお申し込みの方にはこちらからご連絡いたします。
※ご記入いただいた個人情報は本講演会開催に限り使用させていただきます。



タクシー: JR仙台駅より約10分

地下鉄: 北四番丁駅「北2出口」から徒歩約7分 北仙台駅「南1出口」から約10分

お申込用紙

会社・団体名

電話

住所

氏名

所属・役職

氏名

所属・役職



オランダ大使館主催ワークショップのご案内

“Horticulture - The Dutch Integrated Approach”

園芸産業のオランダ型統合的アプローチ

*A contribution from the Netherlands to the discussion
on the reconstruction of the agriculture sector in Tohoku region
following the Great Eastern Japan Earthquake*

東北の農業復興におけるオランダの貢献

2012年2月吉日

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

オランダ王国大使館は、きたる2012年2月27日（月）フォレスト仙台にてワークショップ“Horticulture - The Dutch Integrated Approach”（園芸産業のオランダ型統合的アプローチ）を開催します。ご多忙中とは存じますが、ぜひともご来場賜りたくご案内申し上げます。

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、仙台平野沿岸部広域が、浸水と破壊の被害を受けました。被害を受けた農地では深刻な塩害が指摘され、地域農業が被った損失ははかり知れません。しかしながら、この地域は、震災の苦難を新しい成長の機会へ転換させようと確固たる意志を表明しています。地域農業をかつてない強い産業へ復興させ、大消費地関東首都圏を支える食料生産拠点として再生させるため、多くの取り組みが始まっています。

仙台平野は宮城県の主要な農業生産地であるとともに、太平洋沿岸の交通拠点、すなわち高速道路、主要な海港および国際空港の至近距離に位置しています。こうした地理的好条件は、仙台平野が大規模園芸プロジェクトに適した地であることを示しています。

オランダは九州ほどの国土面積を持つ小さな国です。それにもかかわらず、オランダは世界第二位の農産物・食料輸出国であり、施設園芸技術においては世界最先端をいく国として知られています。本ワークショップ“Horticulture - The Dutch Integrated Approach”（園芸産業のオランダ型統合的アプローチ）においては、オランダから来日する専門家が、温室栽培、農地の除塩、土地の集約・整備、園芸クラスターなどのテーマで講演を行い、オランダで得られた知識・経験を共有いたします。さらに、講師と来場者が双方向のディスカッションを行うことで、東北の農業復興においてオランダが成し得る貢献について、関係者の理解を深めることができれば幸いと存じます。ディスカッションのモデレーターには、内閣官房「食と農林漁業の再生実現会議」の委員であり、東北の農業復興に積極的にお取り組みである宮城大学事業構想学部長の大泉一貫氏をお招きします。

お手数ですが、添付の申込書にて2月22日までに出席をお知らせください。
なお、ご参加は無料です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

敬 具

ワークショップ 開催要領

- 主催： 在京オランダ王国大使館
- 後援： 宮城大学、東北農政局、東北活性化研究センター（敬称略・順不同）
その他後援団体については調整中
- 日時： 平成 24 年 2 月 27 日（月） 9:30-12:00（9:00 受付開始）
- 場所： フォレスト仙台 2 階「第一フォレストホール」
仙台市青葉区柏木 1 丁目 2 番 45 号（次々頁の地図参照）
- 使用言語： 講演は英語で行われますが、日本語逐次通訳がつきます
- お申込み： 事前申込制
別紙申込書にて E メールもしくはファックスで 2 月 22 日までにお申し込みください。
電話による申込受け付けは行いません。なお、募集定員 100 名になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。
- 申込返信先： オランダ王国大使館農業・自然・食品安全部
Email: tok-lnv@minbuza.nl Fax: 03-5776-5500

プログラム

- 9:00 受付開始
- 9:30 開会の辞
- 9:45 ワークショップ 1
ワーヘニンゲン大学研究センター 施設園芸部門
シルケ・ヘミング氏
講演「持続可能な施設園芸生産」
- 10:30 ワークショップ 2
ワーヘニンゲン大学研究センター アルテラ環境研究所
ヴィム・ファン・ドリール氏
講演「除塩：適応策か、緩和策か」
- 11:15 ワークショップ 3
オランダ政府の土地・水管理行政サービス
ケース・ファン・デル・フェールト氏
講演「オランダの経験」
- 12:00 閉会

- ❖ 各ワークショップは、オランダ人専門家による講演、ディスカッションおよび質疑応答を含みます。各講演内容については、次頁をご参照ください。

講師紹介

Ms Dr. Silke HEMMING, "Sustainable Greenhouse Production"

ワーヘニンゲン大学研究センター 施設園芸部門

シルケ・ヘミング氏 講演「持続可能な施設園芸生産」

画期的な温室設計コンセプトおよび最新の園芸用被覆材の研究分野において著名な専門家。ワーヘニンゲン大学研究センターにおいて、施設園芸技術の科学的研究を主導する立場にある。講演では、オランダが取り組む持続可能な施設園芸生産（環境負荷が低く、省力・省エネ・高生産性を実現する生産方法）について最新情報を提供する。

Mr Wim van DRIEL, "Desalination: adaptation or mitigation?"

ワーヘニンゲン大学研究センター アルテラ環境研究所

ヴィム・ファン・ドリール氏 講演「除塩：適応策か、緩和策か」

ワーヘニンゲン大学研究センターにおいて、統合的水資源管理チームのプログラム・マネージャをつとめる一方、世界各地の河口デルタ地域の回復力(resilience)向上のための地球規模の知識主導型ネットワーク「デルタ・アライアンス」のプログラム・マネージャとしても活躍。講演では、農地の塩害対策・除塩に焦点を絞り解説する。

Mr Kees van der VAART, "Reshaping the landscape – The Dutch experience"

オランダ政府の土地・水管理行政サービス (DLG)

ケース・ファン・デル・ファールト氏 講演「オランダの経験」

オランダ政府の土地・水管理行政サービスのシニア・プロジェクト・マネージャとして、オランダ国内で実施される、農業、景観、自然、野外レクリエーション、文化財の統合的強化を目指す大規模開発プロジェクトを担当。講演では、農地の集約、整備、大区画化などの政策を含め、オランダの経験について紹介する。

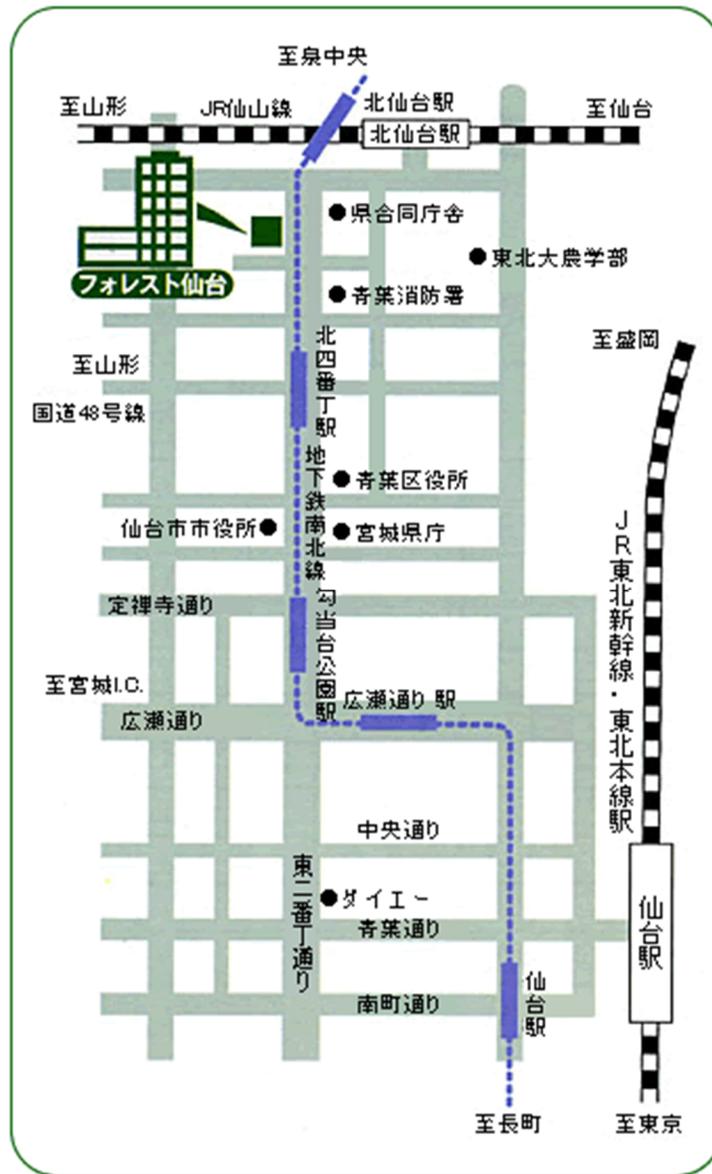
モデレーター

宮城大学 事業構想学部長 大泉 一貫 氏

東京大学大学院修了。農学博士。農業経営の成長を通じた農業の改革に取り組む。農村地域政策の構築や農政への提言活動を展開。日本地域政策学会会長。内閣府「規制改革会議」専門委員（地域経済・農業部会）。内閣官房「食と農林漁業の再生実現会議」委員。大震災からの復興にも取り組み、宮城県南三陸町の震災復興計画策定会議委員長を務める。

フォレスト仙台

〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45/TEL:022-271-9340



◆交通のご案内◆

- タクシーご利用の場合
- 地下鉄ご利用の場合
- JRご利用の場合
- バスご利用の場合

JR 仙台駅より約 10 分

北四番丁駅下車「北 2 出口」より徒歩約 7 分

JR 仙山線「北仙台駅」下車、徒歩約 10 分

JR 仙台駅周辺のバス停より北仙台方面行きに乗車し
「堤通雨宮町」下車徒歩 2 分

⇒仙台市営バス のりば 13 番・14 番 (バスプール)

⇒宮城交通バス のりば 20 番・21 番 (仙台ホテル前)

◆駐車場のご案内◆

- 立体及び平面駐車場 有り
- 有料～30 分毎 100 円